

— 企業・団体向け クライアント運用管理ソフトウェア —



技術資料

システム構成

資料をご利用の際にはWebサイトをご確認いただき、最新の技術資料をお使いください

資料の目的

- ・SKYSEA Client View における各機能の役割と機器構成をご確認いただくための資料です。
- ・必要サーバースペックやインストール可能OS は、別途「SKYSEA Client View 導入前チェックシート」や「OS 対応表」などをご参照ください。

●SKYSEA および SKYSEA Client View は、S k y 株式会社の登録商標です。●Linux® は、Linus Torvalds の登録商標または商標です。●Android™ は、Google Inc. の登録商標または商標です。●Intel® および Pentium® は、Intel Corporation の登録商標または商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。

システム構成概要(機能役割)



管理機

マスターサーバー、データサーバーに保存された情報を閲覧したり、アラートなどの各種設定を行う機能です。管理機をインストールすると同時に端末機もインストールされます。ご購入クライアントライセンス数の範囲であれば、管理機のインストール台数に制限はありません。



端末機

管理対象のPCにインストールする機能です。インストールされたPCは、SKYSEA Client Viewで管理され、管理機からの設定、要求に対する各種動作を行います。



サーバー監査 (オプション)

監査対象のサーバーまたはデータベースの監査ログ収集を行うコンピュータにインストールする機能です。サーバー監査機能をインストールすると、同時に端末機もインストールされます。イベントログや監査ログをSKYSEA Client Viewで閲覧できるようになります。



モバイル端末 (オプション)

管理対象のモバイル端末にインストールする機能です。インストールされたモバイル端末は、SKYSEA Client Viewで管理され、管理機からの設定、要求に対する各種動作を行います。



マスターサーバー機能

端末からアップロードされる資産情報や、管理機で設定された各種通信制限設定を蓄積する機能です。管理する端末機数によって必要なサーバー数が異なります。5000台毎に1台【端末が20000台以上の場合】マスターサーバーとは別にグローバルマスターサーバーが必要になります。マスターサーバーは10000台毎に1台※【システム構成概要 -9-】をご参照ください



データサーバー機能

端末からアップロードされるログを蓄積する機能です。管理する端末機数によって必要なサーバー数が異なります。5000台毎に1台【画面操作録画利用】150台毎に1台【syslog送信(*)利用】3000台毎に1台



ログ解析/レポート用サーバー機能

データサーバーが収集したログを集計・解析する機能です。解析結果をグラフ化してWebブラウザで表示することができます。



在席確認・インスタントメッセージ サーバー機能(オプション)

端末機の操作状況をもとに、ユーザーの在席状況を確認したり、指定したユーザーとインスタントメッセージによるやりとりができる機能です。※2001ユーザー以上の場合、専用サーバーが必要です。



資産データ/ログデータWeb閲覧機能サーバー

収集した資産情報やログデータをWebブラウザ上で閲覧ができる機能です。※1001台以上の場合、専用サーバーが必要です。



HTTPゲートウェイサーバー

端末の資産情報やログデータの収集、管理、およびリモート操作をインターネット経由で行える機能です。資産情報、ログデータの管理は、サーバー1台につき端末5000台まで管理可能です。※インターネット経由でのリモート操作はオプションです。



残業申請Web承認システム

端末機から申請された残業申請をスマートフォンのWebブラウザから承認/拒否ができます。※リバースプロキシサーバーまたはロードバランサーが必要です。



申請・承認ワークフローシステム(オプション)

ソフトウェアや端末の利用に関してWebにて申請・承認を行う機能です。Webサーバー機能とデータベースサーバー機能の2つで構成されます。両者は1台のサーバーに集約して構築可能です。



モバイル情報中継サーバー機能(オプション)

「モバイル情報収集サーバー」からHTTPS(HTTP)で資産情報やログ情報を取得しマスター/データサーバーに転送する機能です。



モバイル情報収集サーバー機能(オプション)

モバイル端末から資産情報等を収集する機能です。送られてきた情報は「モバイル情報中継サーバー」がHTTPS(HTTP)で取得します。モバイル端末との通信は、4G(LTE)またはWi-Fiで行います。

※「syslog送信」は「ITセキュリティ対策強化」オプションの機能です。Professional Edition、Enterprise Editionおよびテレワーク Editonでは標準機能となります。

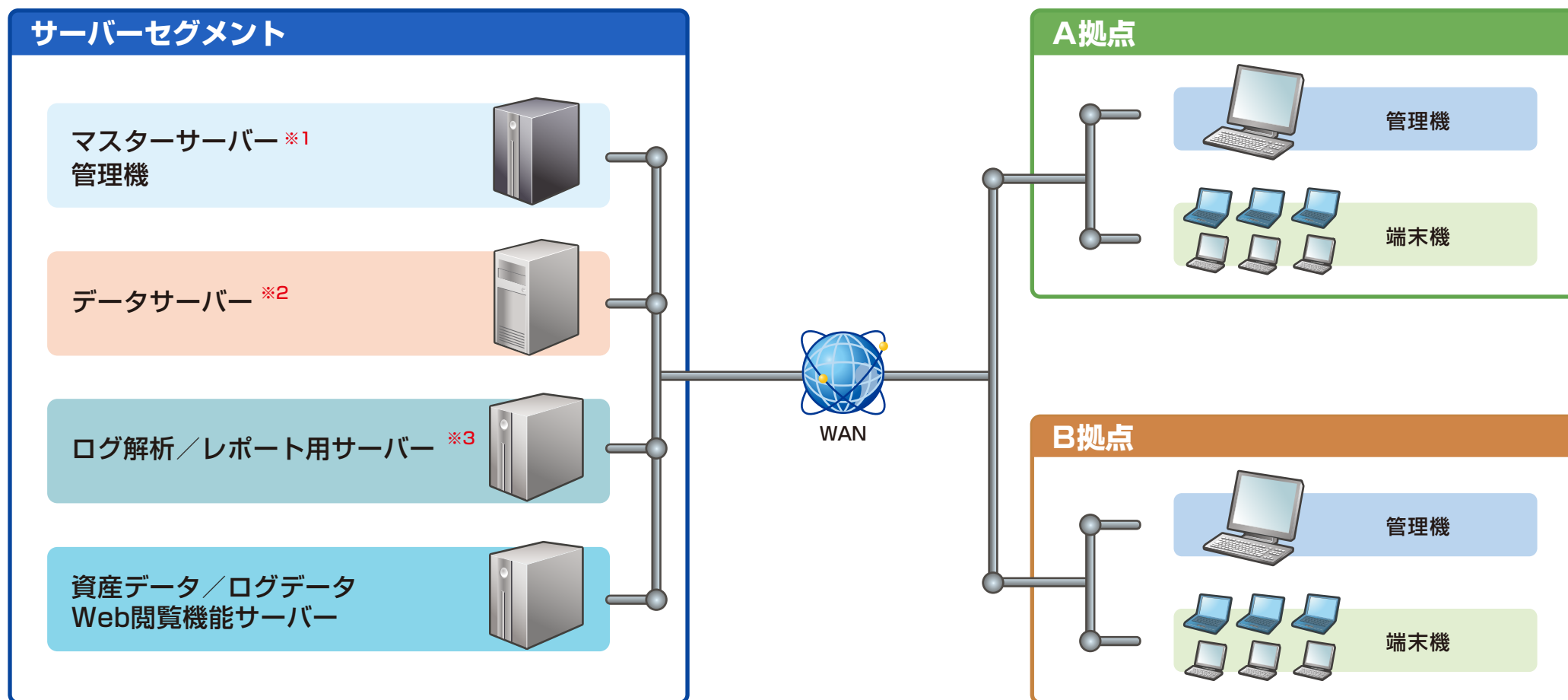
システム構成概要 -1-

5001台～20000台までの構成

※サーバーはSKYSEA Client View 専用サーバーをご用意ください



— 技術資料 —



※ ご利用環境により、データサーバー、ログ解析／レポート用サーバーを拠点に配置することも可能です。

※1 5001台以上の場合、サーバーへの負荷を考慮し、マスターサーバーと同一のサーバーにデータサーバー、ログ解析／レポート用サーバー、資産データ／ログデータ Web閲覧機能サーバーをインストールしないでください。

※2 「syslog送信」機能をご利用の場合は、データサーバーを3000台毎に1台ご準備ください。「syslog送信」は「ITセキュリティ対策強化」オプションの機能です。Professional Edition、EnterPrise Editionおよびテレワーク Editonでは標準機能となります。

※3 管理端末台数が5000台を超える場合は「資産・ログ活用レポートライブラリ」のみご利用可能です。

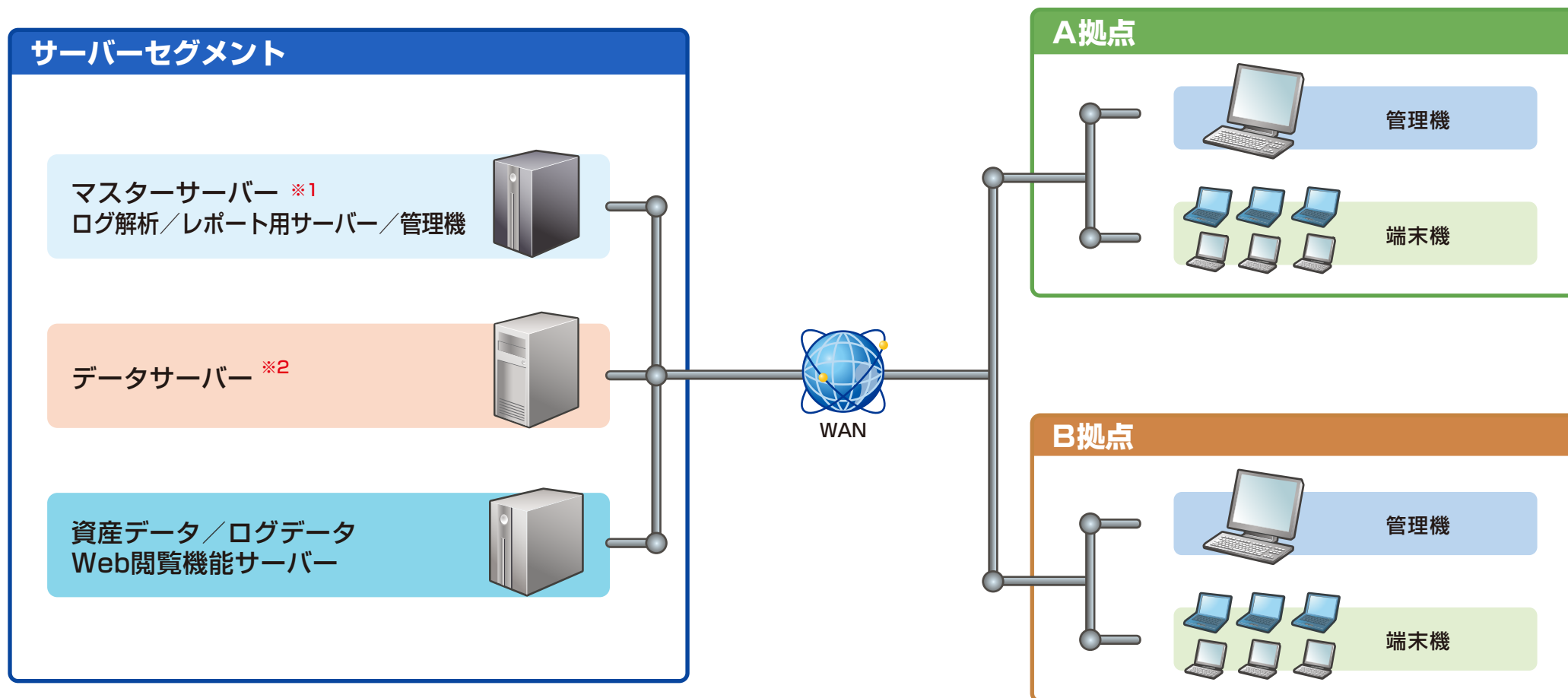
システム構成概要 -2-

1001台～5000台までの構成

※サーバーはSKYSEA Client View 専用サーバーをご用意ください。



— 技術資料 —



※ご利用環境により、データサーバーを拠点に配置することも可能です。

※1 1001台以上の場合、サーバーへの負荷を考慮し、マスターサーバーと同一のサーバーにデータサーバー、資産データ／ログデータ Web閲覧機能サーバーをインストールしないでください。

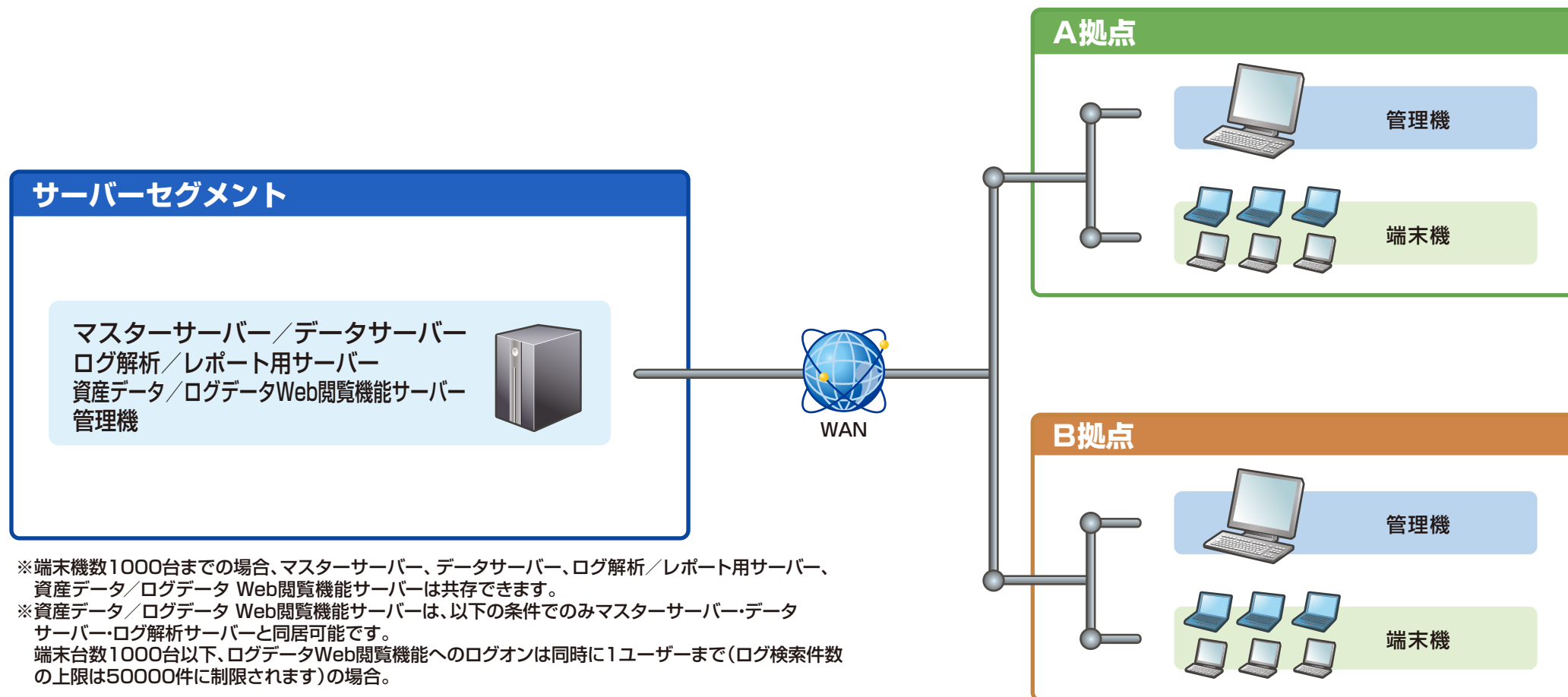
※2 「syslog送信」機能をご利用の場合は、データサーバーを3000台毎に1台で準備ください。「syslog送信」は「ITセキュリティ対策強化」オプションの機能です。

Professional Edition、EnterPrise Editionおよびテレワーク Editonでは標準機能となります。

システム構成概要 -3-

1000台までの構成

※サーバーはSKYSEA Client View 専用サーバーをご用意ください



※端末機数1000台までの場合、マスターサーバー、データサーバー、ログ解析／レポート用サーバー、資産データ／ログデータ Web閲覧機能サーバーは共存できます。

※資産データ／ログデータ Web閲覧機能サーバーは、以下の条件でのみマスターサーバー・データサーバー・ログ解析サーバーと同居可能です。
端末台数1000台以下、ログデータWeb閲覧機能へのログオンは同時に1ユーザーまで(ログ検索件数の上限は50000件に制限されます)の場合。

※拠点側の端末数や拠点間のネットワーク帯域に応じて、拠点側にもデータサーバーを設置していただくことが可能です。

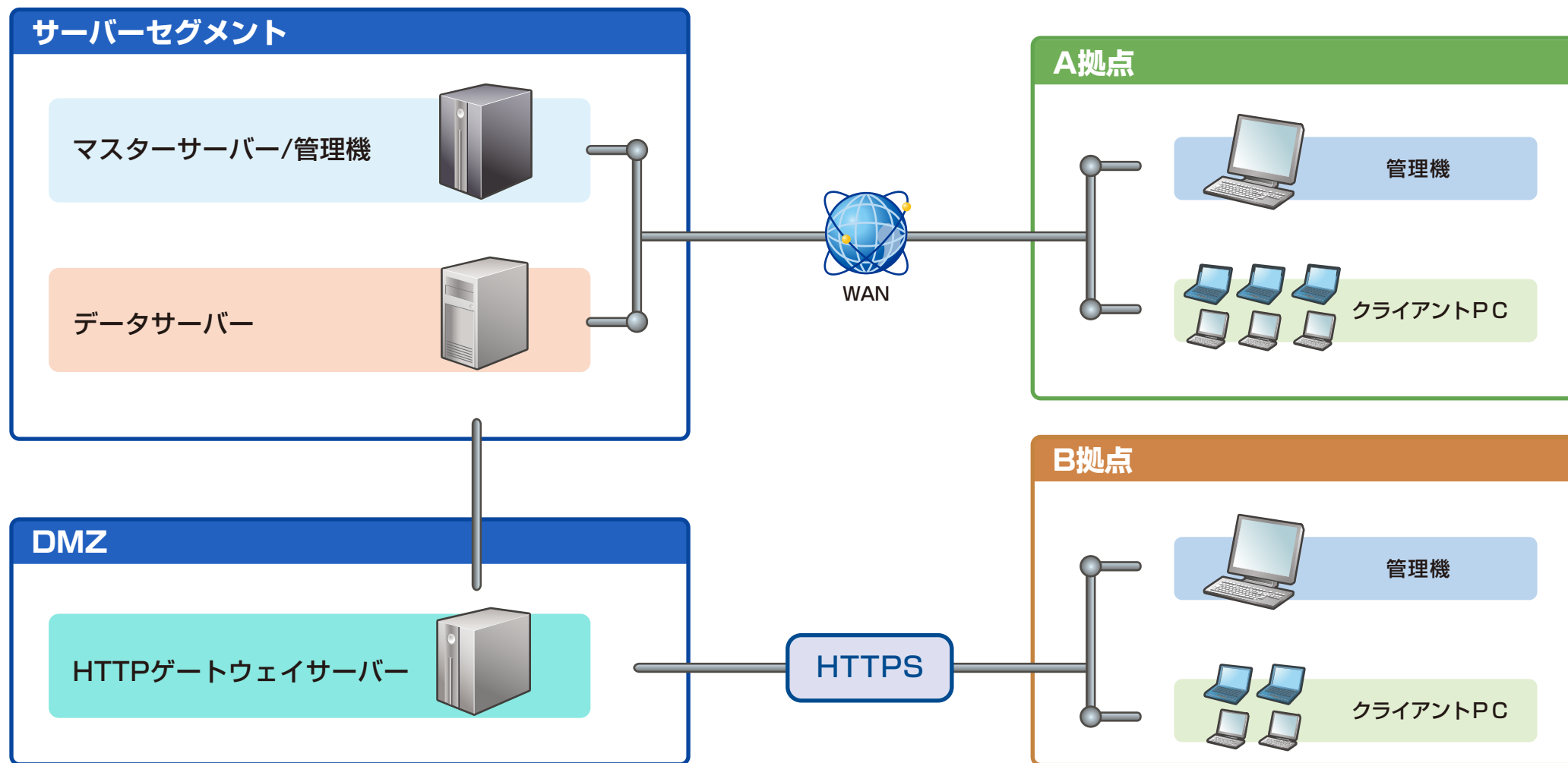
システム構成概要 -4-

HTTPを利用し、インターネット経由で資産情報、ログデータの管理、およびリモート操作を行う構成

※インターネット経由のリモート操作はオプションとなります。



— 技術資料 —

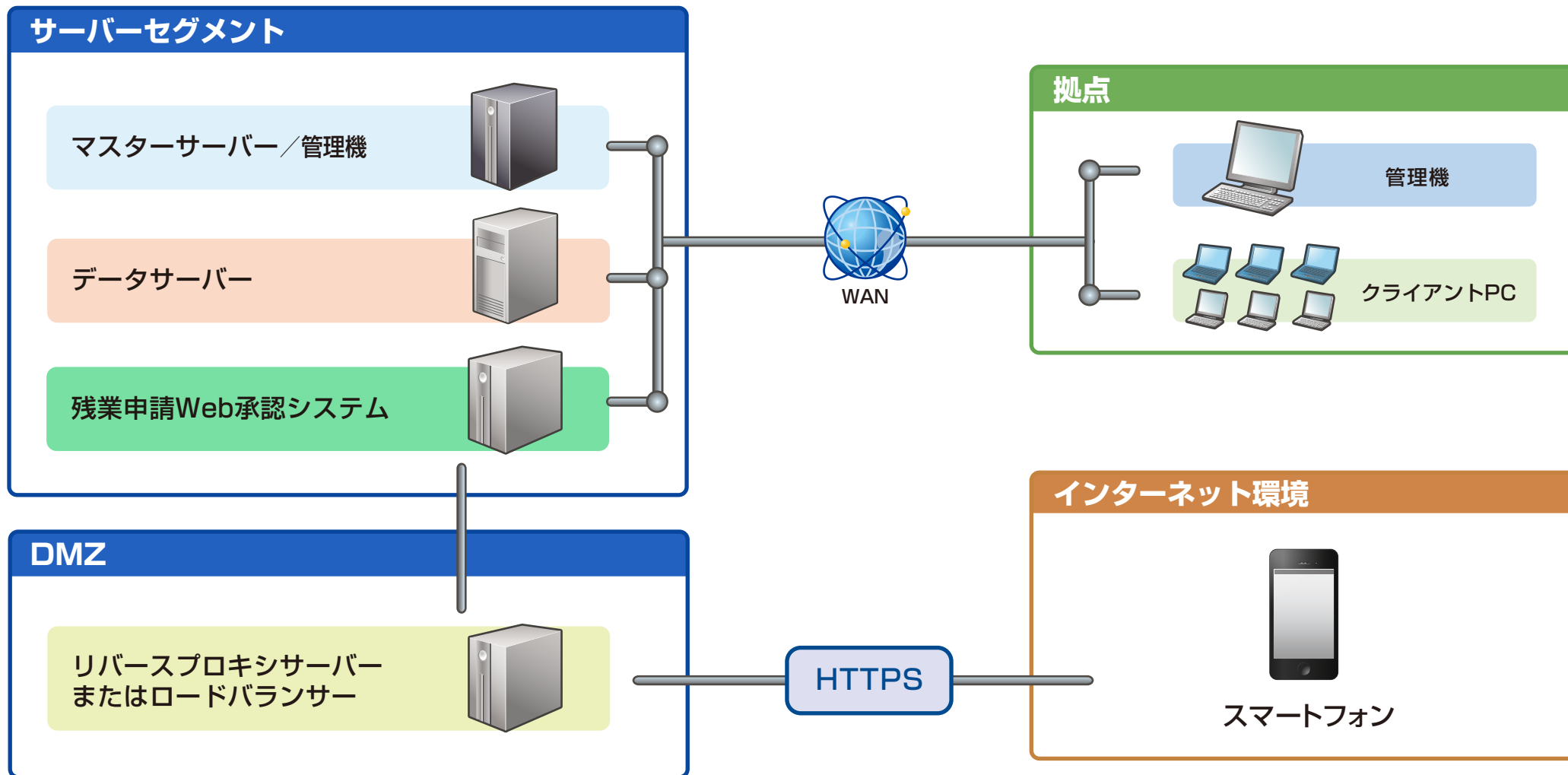


※HTTPゲートウェイサーバー1台につき、端末5000台まで管理可能です。

HTTPゲートウェイサーバーは、Windows ServerとLinux® Serverに対応しています。対応OSの詳細は、[技術資料] —OS 対応表—をご確認ください。

システム構成概要 -5-

HTTPを利用し、残業申請にスマートフォンのweb
ブラウザから承認／拒否を行う構成



- ※ リバースプロキシサーバーまたはロードバランサーが必要です。
- ※ 「残業申請Web承認システム」は、「申請・承認ワークフローサーバー」とのみ同居が可能です。
「申請・承認ワークフローサーバー」と同居する場合は、必要スペックや対応OSにご注意ください。

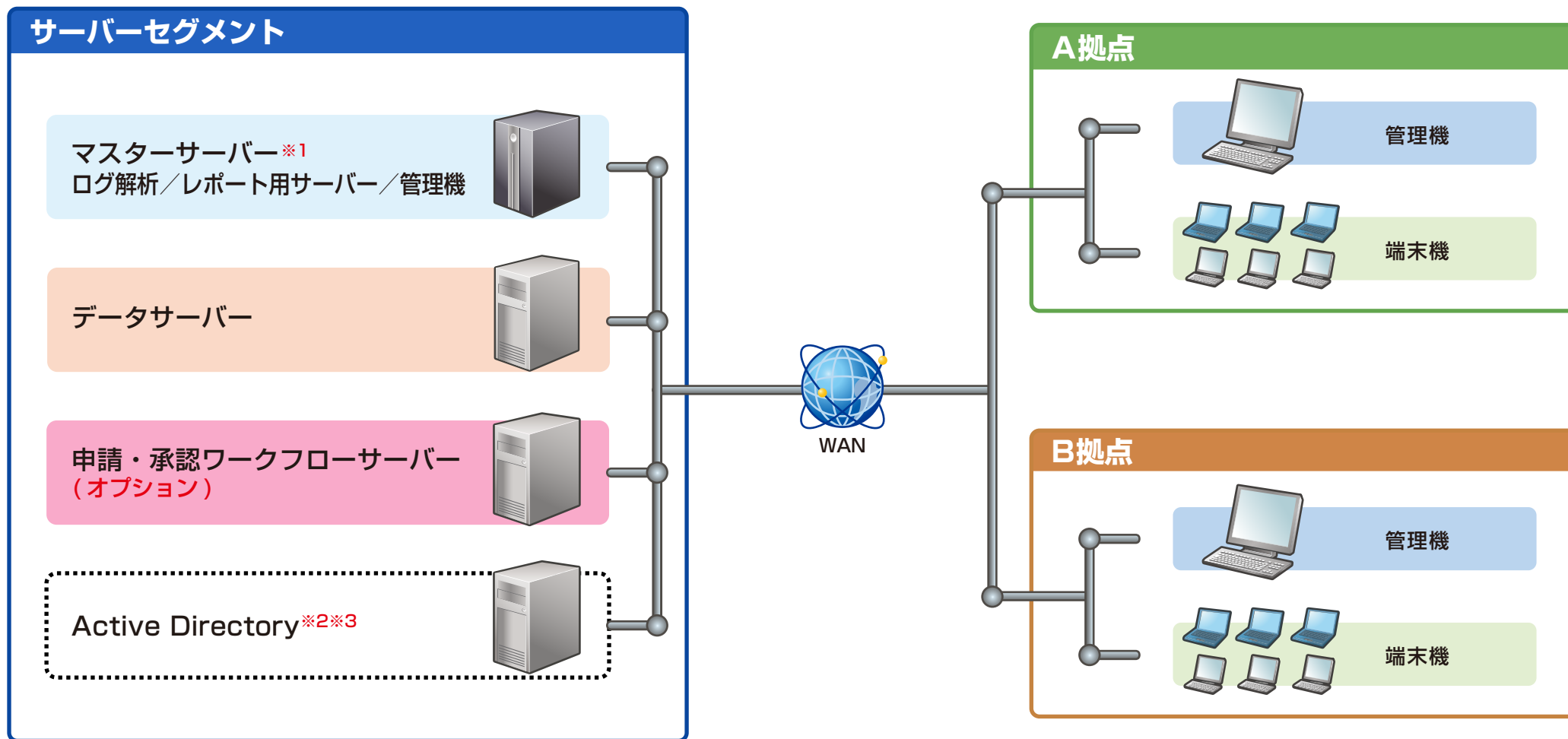
システム構成概要 -6-

申請・承認ワークフローシステムを利用する場合

※サーバーはSKYSEA Client View 専用サーバーをご用意ください



— 技術資料 —



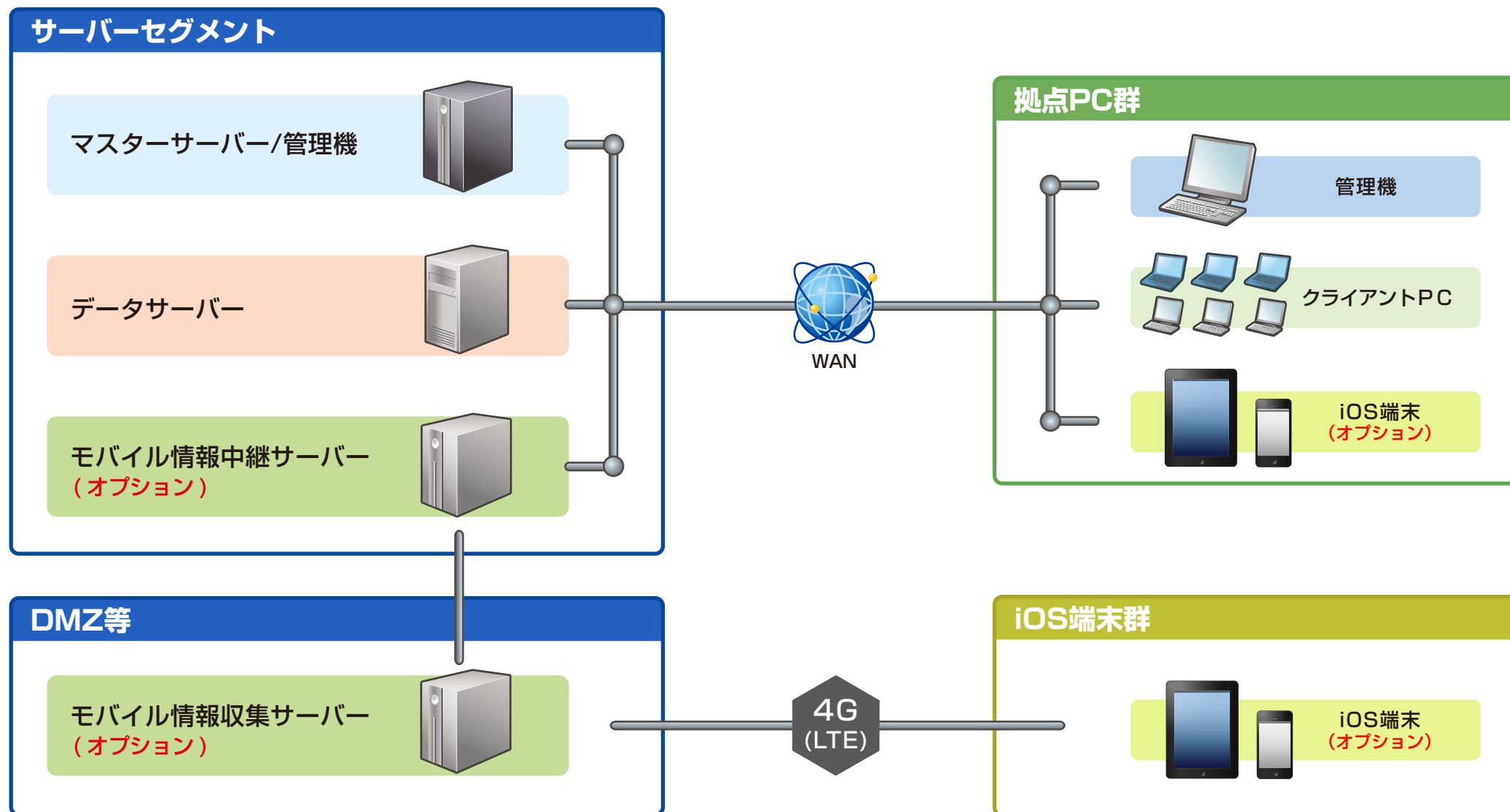
※1 1001台以上の場合、サーバーへの負荷を考慮し、マスターサーバーと同一のサーバーにデータサーバーをインストールしないでください。

※2 Active DirectoryとはMicrosoftによって開発されたディレクトリ・サービス・システムです。

※3 申請・承認ワークフローの利用にはActive Directory、およびOUに所属するユーザーが必要です。

システム構成概要 -7-

iOS端末を管理する構成



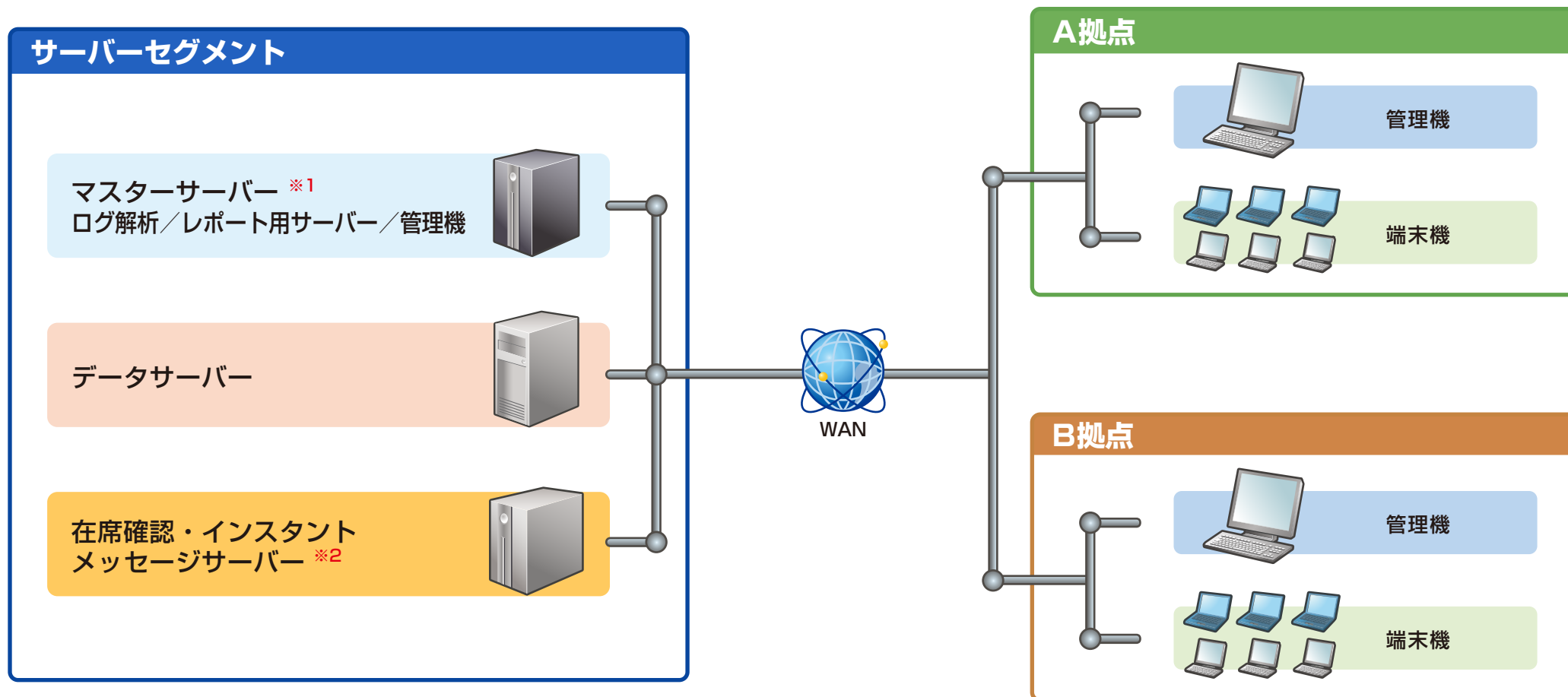
システム構成概要 -8-

在席確認・インスタントメッセージ機能システムを利用する場合

※サーバーは SKYSEA Client View専用サーバーをご用意ください。



— 技術資料 —



※ご利用環境により、データサーバーを拠点に配置することも可能です。

※1 1001台以上の場合、サーバーへの負荷を考慮し、マスターサーバーと同一のサーバーにデータサーバーをインストールしないでください。

※2 「在席確認・インスタントメッセージサーバー」は最大ユーザー数が「2000」以下を想定する場合、「マスターサーバー」と同居が可能です。「マスターサーバー」と同居する場合は、必要スペックや対応OSにご注意ください。

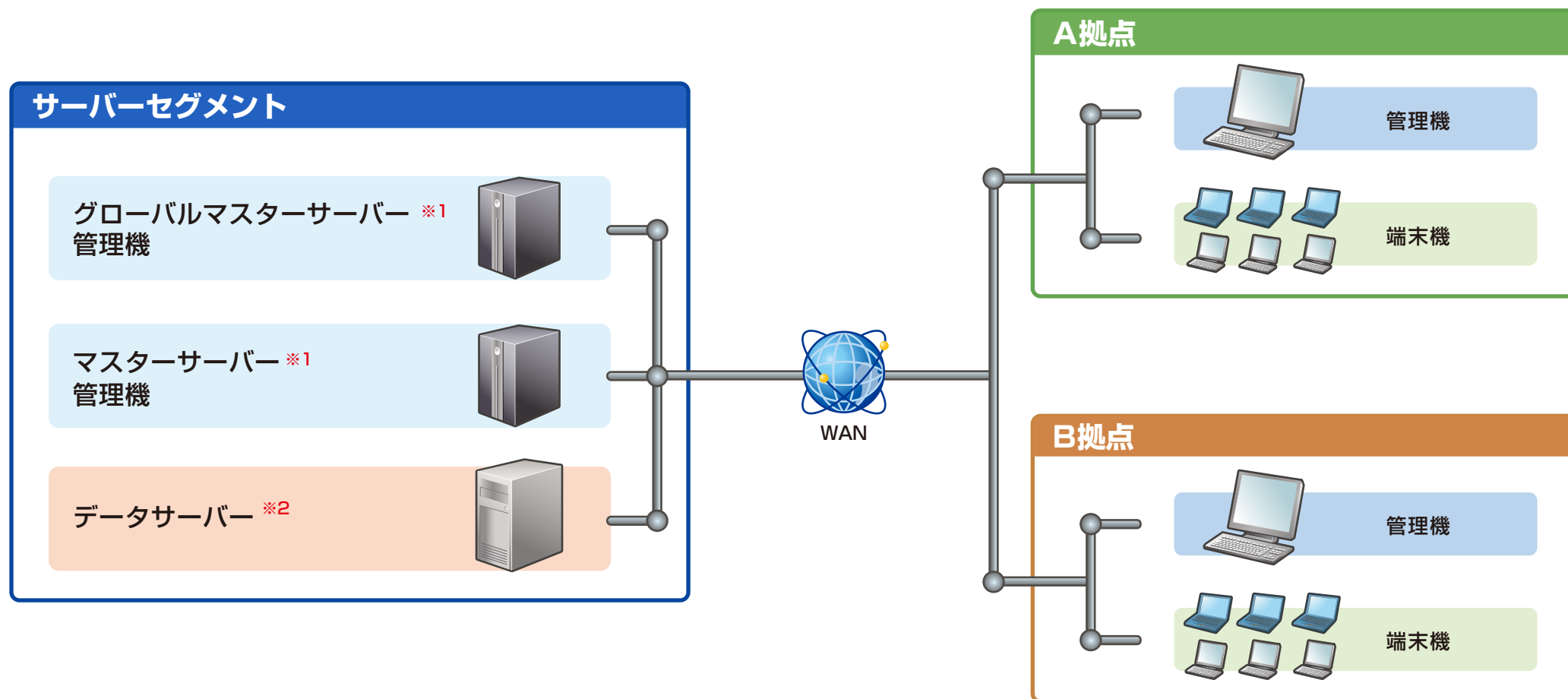
システム構成概要 -9-

20000台以上の構成

※サーバーはSKYSEA Client View 専用サーバーをご用意ください



— 技術資料 —



※ ご利用環境により、データサーバーを拠点に配置することも可能です。

※1 本構成の場合はグローバルマスターサーバー、マスターサーバーと同一のサーバーにデータサーバーをインストールしないでください。

※2 「syslog送信」機能をご利用の場合は、データサーバーを3000台毎に1台ご準備ください。「syslog送信」は「ITセキュリティ対策強化」オプションの機能です。Professional Edition、EnterPrise Editionおよびテレワーク Editonでは標準機能となります。

システム構成概要 サーバー構成

CPUの必要スペックは、コア数 / スレッド数 / クロック周波数という形で表記しております。

HDD容量は、ログデータを圧縮した場合の概算値です。HDD容量の詳細は「導入前チェックシート」でご確認ください。

ハイパースレッディングが有効な仮想環境の場合は、下記コア数の2倍の論理コアを割り当ててください。

(例)2コア/2スレッドまたは2コア/4スレッドの場合、2コア×2 = 4vCPU。4コア/4スレッドまたは4コア/8スレッドの場合、4コア×2 = 8vCPU。

下記サーバーのうち、マスターサーバー、ログ解析サーバー、資産データWeb閲覧機能サーバー、ログデータWeb閲覧機能サーバーを仮想環境に構築する場合は、すべてのコアを一つのソケットに割り当ててください。

(SQL Server Expressを利用しており、SQL Server Expressの制限となります。)

管理端末台数		500台	1000台	3000台	5000台	10000台
必要サーバー台数		1台	1台	2台	2台	5台
マスターサーバー	内 訳	台数:1台 CPU:2コア/2スレッド/2GHz 以上 MEM:2GB以上 HDD:150GB以上(3ヶ月) 170GB以上(6ヶ月) 210GB以上(12ヶ月)	台数:1台 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:4GB以上 HDD:170GB以上(3ヶ月) 210GB以上(6ヶ月) 300GB以上(12ヶ月)	台数:1台※1※2 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:6GB以上 HDD:210GB以上(3ヶ月) 220GB以上(6ヶ月) 250GB以上(12ヶ月)	台数:1台※1※2※5 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:220GB以上(3ヶ月) 250GB以上(6ヶ月) 310GB以上(12ヶ月)	台数:2台※1※2 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:160GB以上
ログ解析						台数:1台※1※2※5 CPU:2コア/2スレッド/2GHz 以上 MEM:2GB以上 HDD:120GB以上(3ヶ月) 180GB以上(6ヶ月) 300GB以上(12ヶ月)
データサーバー				台数:1台※1※2 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:4GB以上 HDD:140GB以上(3ヶ月) 270GB以上(6ヶ月) 540GB以上(12ヶ月)	台数:1台※1※2※4 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:230GB以上(3ヶ月) 450GB以上(6ヶ月) 900GB以上(12ヶ月)	台数:2台※1※2※4 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:230GB以上(3ヶ月) 450GB以上(6ヶ月) 900GB以上(12ヶ月)
資産データ / ログデータ Web閲覧機能						
管理端末台数		500台	1000台	3000台	5000台	10000台
資産データ Web閲覧機能 サーバー	内 訳	台数:1台※3 資産データWeb閲覧機能のみ利用時 CPU:2コア/2スレッド/2.0GHz以上 MEM:2GB以上 HDD:10GB以上	台数:1台※3 資産データWeb閲覧機能のみ利用時 CPU:2コア/2スレッド/2.0GHz以上 MEM:2GB以上 HDD:10GB以上	台数:1台 資産データWeb閲覧機能のみ利用時 CPU:2コア/2スレッド/2.0GHz以上 MEM:2GB以上 HDD:10GB以上	台数:1台 資産データWeb閲覧機能のみ利用時 CPU:2コア/2スレッド/2.0GHz以上 MEM:2GB以上 HDD:10GB以上	台数:1台 資産データWeb閲覧機能のみ利用時 CPU:2コア/2スレッド/2.0GHz以上 MEM:2GB以上 HDD:10GB以上
ログデータ Web閲覧機能 サーバー※6		ログデータWeb閲覧機能のみ利用時※6 CPU:4コア/4スレッド /1.8GHz以上 MEM:4GB以上 HDD:10GB(Web)+20GB(DB)以上	ログデータWeb閲覧機能のみ利用時※6 CPU:4コア/4スレッド /1.8GHz以上 MEM:4GB以上 HDD:10GB(Web)+20GB(DB)以上	ログデータWeb閲覧機能のみ利用時※6 CPU:4コア/4スレッド/1.8GHz以上 MEM:4GB以上 HDD:10GB(Web)+20GB(DB)以上	ログデータWeb閲覧機能のみ利用時※6 CPU:4コア/4スレッド/1.8GHz以上 MEM:4GB以上 HDD:10GB(Web)+20GB(DB)以上	ログデータWeb閲覧機能のみ利用時※6 CPU:4コア/4スレッド/1.8GHz以上 MEM:4GB以上 HDD:10GB(Web)+20GB(DB)以上

※1 SASドライブやライトバックキャッシュ有効なRAIDカードを利用するなど、高速なDisk処理が行えるようにしてください。

※2 GigabitEthernet環境でご利用ください。

※3 表中のマシンスペックは、専用サーバーで利用する場合のスペックです。

端末台数1000台以下、ログデータWeb閲覧機能へのログオンは同時に1ユーザーまで(ログ検索件数の上限は50000件に制限されます)の場合に限り、マスターサーバーとの共存が可能です。共存時のサーバーの必要スペックは1000台レンジのマスターサーバーのスペックになります。

※4 「syslog送信」機能をご利用の場合は、データサーバーを3000台毎に1台ご準備ください。「syslog送信」は「ITセキュリティ対策強化」オプションの機能です。Professional Edition、EnterPrise Editionおよびテレワーク Editonでは標準機能となります。

※5 管理端末台数が5000台を超える場合は「資産・ログ活用レポートライブラリ」のみご利用可能です。

※6 資産データとログデータどちらも利用する場合は、「ログデータWeb閲覧機能サーバーのみ利用時」のスペックで1台に集約可能です。

システム構成概要 サーバー構成

CPUの必要スペックは、コア数 / スレッド数 / クロック周波数という形で表記しております。

HDD容量は、ログデータを圧縮した場合の概算値です。HDD容量の詳細は「導入前チェックシート」でご確認ください。

ハイパースレッディングが有効な仮想環境の場合は、下記コア数の2倍の論理コアを割り当ててください。

(例) 2コア/2スレッドまたは2コア/4スレッドの場合、2コア×2 = 4vCPU. 4コア/4スレッドまたは4コア/8スレッドの場合、4コア×2 = 8vCPU.

下記サーバーのうち、マスターサーバー、ログ解析サーバーを仮想環境に構築する場合は、すべてのコアを一つのソケットに割り当ててください。

(SQL Server Expressを利用しており、SQL Server Expressの制限となります。)

管理端末台数		15000台	20000台	25000台	30000台	50000台
必要サーバー台数		7台	9台	9台	10台	16台
マスターサーバー		台数:3台※1※2 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:160GB以上	台数:4台※1※2 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:160GB以上	台数:3台※1※2 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:160GB以上	台数:3台※1※2 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:160GB以上	台数:5台※1※2 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:160GB以上
ログ解析	内 訳	台数:1台※1※2※5 CPU:2コア/2スレッド/2GHz 以上 MEM:2GB以上 HDD:120GB以上(3ヶ月) 180GB以上(6ヶ月) 300GB以上(12ヶ月)	台数:1台※1※2※5 CPU:2コア/2スレッド/2GHz 以上 MEM:2GB以上 HDD:120GB以上(3ヶ月) 180GB以上(6ヶ月) 300GB以上(12ヶ月)	ログ解析/レポート用サーバーはご利用できません		
データサーバー		台数:3台※1※2※4 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:230GB以上(3ヶ月) 450GB以上(6ヶ月) 900GB以上(12ヶ月)	台数:4台※1※2※4 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:230GB以上(3ヶ月) 450GB以上(6ヶ月) 900GB以上(12ヶ月)	台数:5台※1※2※4 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:230GB以上(3ヶ月) 450GB以上(6ヶ月) 900GB以上(12ヶ月)	台数:6台※1※2※4 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:230GB以上(3ヶ月) 450GB以上(6ヶ月) 900GB以上(12ヶ月)	台数:10台※1※2※4 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:230GB以上(3ヶ月) 450GB以上(6ヶ月) 900GB以上(12ヶ月)
グローバル マスターサーバー				台数:1台※1※2※3 CPU:16コア32スレッド以上 MEM:32GB以上 HDD:350GB以上	台数:1台※1※2※3 CPU:16コア32スレッド以上 MEM:32GB以上 HDD:350GB以上	台数:1台※1※2※3 CPU:16コア32スレッド以上 MEM:32GB以上 HDD:350GB以上

※1 SASドライブやライトバックキャッシュ有効なRAIDカードを利用するなど、高速なDisk処理が行えるようにしてください。

※2 GigabitEthernet環境でご利用ください。

※3 グローバルマスターサーバーをご利用の場合は、Microsoft SQL Server 2014 / 2019 (Standard Edition 以上、かつ2019をご利用される場合は、サーバーOSがWindows Server 2016 以降)が必要です。別途ご準備ください。

※4 「syslog送信」機能をご利用の場合は、データサーバーを3000台毎に1台ご準備ください。「syslog送信」は「ITセキュリティ対策強化」オプションの機能です。

Professional Edition、EnterPrise EditionおよびテレワークEditionでは標準機能となります。

※5 管理対象端末台数が5000台を超える場合は「資産・ログ活用レポートライブラリ」のみご利用可能です。

システム構成概要 サーバー構成

CPUの必要スペックは、コア数 / スレッド数 という形で表記しております。

HDD容量は、ログデータを圧縮した場合の概算値です。HDD容量の詳細は「導入前チェックシート」でご確認ください。

ハイパースレッディングが有効な仮想環境の場合は、下記コア数の2倍の論理コアを割り当ててください。

(例) 2コア/2スレッドまたは2コア/4スレッドの場合、2コア×2 = 4vCPU. 4コア/4スレッドまたは4コア/8スレッドの場合、4コア×2 = 8vCPU.

下記サーバーのうち、残業申請Web承認システムを仮想環境に構築する場合は、すべてのコアを一つのソケットに割り当ててください。

(SQL Server Expressを利用しており、SQL Server Expressの制限となります。)

管理端末台数		1000台	2000台	3000台	4000台	5000台
HTTP ゲートウェイ サーバー	内 訳	台数:1台※1 CPU:2コア/4スレッド以上 MEM:4GB以上 HDD:10GB以上	台数:1台※1 CPU:4コア/8スレッド以上 MEM:8GB以上 HDD:10GB以上	台数:1台※1 CPU:6コア/12スレッド以上 MEM:8GB以上 HDD:10GB以上	台数:1台※1 CPU:8コア/16スレッド以上 MEM:12GB以上 HDD:10GB以上	台数:1台※1 CPU:12コア/24スレッド以上 MEM:12GB以上 HDD:10GB以上

承認ユーザー数		1000ユーザー
残業申請 Web承認 システム	内 訳	台数:1台※2 CPU:2コア/4スレッド以上 ※3 MEM:4GB以上 ※3 HDD:10GB(Web)+20GB(DB)以上 ※3

管理端末台数		150台	300台
画面操作録画用 データサーバー	内 訳	台数:1台※1※2※4※5 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:710GB以上(1ヶ月)※6 2140GB以上(3ヶ月)※6 4270GB以上(6ヶ月)※6	台数:2台※1※2※4※5 CPU:4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:710GB以上(1ヶ月)※6 2140GB以上(3ヶ月)※6 4270GB以上(6ヶ月)※6

※1 SASドライブやライトバックキャッシュ有効なRAIDを利用するなど、高速なDisk処理が行えるようにしてください

※2 表中のマシンスペックは専用サーバーで利用する場合のスペックです。

※3 申請・承認ワークフローシステムと同居する場合は、申請・承認ワークフローシステムのサーバスペック(CPU、MEM、HDD)に、追加に残業申請Web承認システムのHDD30GBが必要です。

※4 「起動・終了」「ファイル操作」などの通常の操作ログは別途データサーバーが必要です。

※5 GigabitEthernet環境でご利用ください。

※6 HDDの容量は、端末1台あたり1日8時間、画面操作録画データを取得した場合のスペックです。

システム構成概要

サーバー構成(オプション機能)

CPUの必要スペックは、コア数 / スレッド数 / クロック周波数という形で表記しております。

HDD容量は、ログデータを圧縮した場合の概算値です。HDD容量の詳細は「導入前チェックシート」でご確認ください。

ハイパースレッディングが有効な仮想環境の場合は、下記コア数の2倍の論理コアを割り当ててください。

(例)2コア/2スレッドまたは2コア/4スレッドの場合、2コア×2 = 4vCPU. 4コア/4スレッドまたは4コア/8スレッドの場合、4コア×2 = 8vCPU.

下記サーバーのうち、申請・承認ワークフローシステム、在籍確認・インスタントメッセージサーバーを仮想環境に構築する場合は、すべてのコアを一つのソケットに割り当ててください。

(SQL Server Expressを利用しており、SQL Server Expressの制限となります。)

オプション						
管理端末台数		500台	1000台	3000台	5000台	10000台
モバイル情報 中継サーバー (オプション)	内 訳	台数:1台※3 CPU:2コア/2スレッド/2GHz 以上 MEM:2GB以上 HDD:20GB以上	台数:1台※3 CPU:2コア/2スレッド/2GHz 以上 MEM:2GB以上 HDD:20GB以上	台数:1台※1 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:40GB以上	台数:1台※1 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:40GB以上	台数:2台※1 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上 または 4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:8GB以上 HDD:40GB以上
モバイル情報 収集サーバー (オプション)		台数:1台 CPU:4コア/4スレッド/2GHz 以上 MEM:4GB以上 HDD:20GB以上	台数:1台 CPU:4コア/4スレッド/2GHz 以上 MEM:4GB以上 HDD:20GB以上	台数:1台※1 CPU:4コア/4スレッド/2GHz 以上 MEM:4GB以上 HDD:20GB以上	台数:1台※1 CPU:4コア/4スレッド/2GHz 以上 MEM:4GB以上 HDD:20GB以上	台数:2台※1 CPU:4コア/4スレッド/2GHz 以上 MEM:4GB以上 HDD:20GB以上
申請・承認 ワークフローシステム (オプション)		台数:1台 CPU:4コア/4スレッド/2.66GHz 以上、または4コア/8スレッド/2.53GHz 以上 MEM:4GB以上 HDD:10GB(Web)+20GB(DB)以上 ※4				

最大ユーザー数		10000ユーザー
在席確認・イン スタントメッセ ージサーバー (オプション)	内 訳	台数:1台※5 CPU:2コア/4スレッド以上 MEM:4GB以上 HDD:空き容量20GB以上

※1 SASドライブやライトバックキャッシュ有効なRAIDカードを利用するなど、高速なDisk処理が行えるようにしてください。

※2 GigabitEthernet環境でご利用ください。

※3 モバイル端末とPCの管理端末台数の合計が1000台以下の場合、モバイル情報中継サーバーはマスターサーバーとの共存が可能です。

表中のマシンスペックは、専用サーバーで利用する場合のスペックです。モバイル端末とPCの管理端末台数の合計が1000台以下で、モバイル中継サーバーとマスターサーバーを共存させる場合の構成については弊社までお問い合わせください。

※4 ファイル持ち出し申請(オプション)利用時は+必要量

※5 最大ユーザー数が2000以下の場合、在席確認・インスタントメッセージサーバーはマスターサーバーとの共存が可能です。

表中のマシンスペックは、専用サーバーで利用する場合のスペックです。最大ユーザー数が2000以下の場合、在席確認・インスタントメッセージサーバーとマスターサーバーを共存させる場合の構成については弊社までお問い合わせください。